

令和6年度 伊達市立伊達西小学校  
**北の子学びプラン**

令和6年4月19日  
伊達西小学校

伊達西小学校では、確かな学力を身に付けた子どもの育成を目指して、「北の子学びプラン」に取り組んでいます。

「北の子学びプラン」とは、子ども達の学びを3つの側面から見つめ直し、家庭、学校、子どものそれぞれが協力しあって、総合的に学力を向上させていこうという取組です。

3つの側面とは、①学習習慣・学習規律 ②授業改善 ③家庭学習 の3つです。

プラン① **き**がまえ、身がまえ、物がまえしっかりと～学習習慣・学習規律の徹底

プラン② **たの**しく考え、学び合い～授業(づくり)改善

プラン③ **こ**っこつ毎日、家でも学習・読書～家庭学習の定着

## 〈全体構造図〉

### 学級経営の充実

・落ち着いた生活集団づくり

・学び合い高め合う学習集団づくり

**き**

#### 学習習慣（学習規律）

- ・学習の準備・時間を守る
- ・聞き方、話し方、書き方
- ・学習用具

**たの**

#### 授業(づくり)改善

- ・教材研究の充実
- ・学習展開と学び方の定着
- ・ノート指導

**こ**

#### 家庭学習の定着

- ・学習の仕方
- ・学習の内容
- ・学習時間のめやす

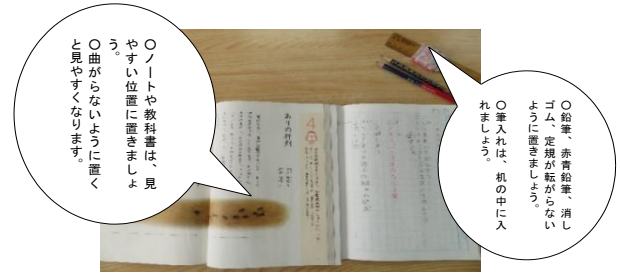
- ・早寝早起き
- ・朝食をとる習慣
- ・学習、遊び、手伝い、  
読書などバランスのよい生活サイクル
- ・読書の習慣化
- ・健康、体力の増進

家庭 《望ましい生活習慣の定着》

## プラン①

### ○気がまえ(学習準備について)

- ①登校後 ○ランドセルや雨具などの始末、課題の提出、水飲み、トイレをすませます。  
○8時10分には、着席をして待ちます。
- ②朝学習 ○朝学習は、計算と漢字の学習に取り組みます。
- ③学習の準備
- ④学習終了後  
○教科書とノートは机の中に入れます。  
○消しゴムのかすは、自分で集めてごみ箱に捨てます。  
○次の時間の準備をしてから、休みます。



## プラン①

### ○身がまえ～学習の基本～

#### 聞き方

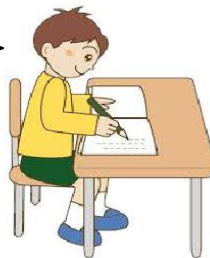
- 話す人に体を向けて、話す人を見て姿勢良く聞きます。
- うなずきながら聞いたり、大事なことをメモしたりしながら聞きます。
- 聞き取れない時は、「もう一度お願いします。」と言います。

#### 書き方

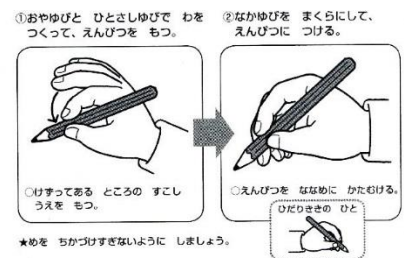
- 鉛筆を正しく持って書きます。
- 定規を使うところは、しっかり使います。
- 学年が上がるにつれて、見やすくなるように工夫して書くこともあります。

#### 話し方

- 「はい。」と言って手を挙げます。
- 聞いている人全体に聞こえるような声で発表します。
- 「～です。」「～だと思います。」と語尾まではっきりと話します。



### えんぴつの持ち方



## プラン①

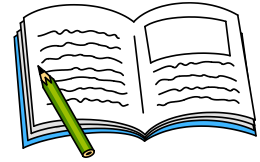
### ○物がまえ(学習用具について)～学習に集中し効果的に学ぶために～ 筆入れには次の物だけを入れるよう指導しています。



- ①鉛筆6本程度 (Bもしくは2B)
  - ・三角、六角、らせん軸など、持ちやすく、書きやすいものが望ましいです。
  - ・飾り付き、バトル鉛筆などは家で使います。
- ②消しゴム1個 よく消え、無臭で、四角いものが望ましいです。
- ③赤青色鉛筆
  - ・赤青一体になっているものでも、2本用意してもよいです。
  - ・高学年はボールペンを使用する場合があります。担任から指示があります。
- ④黒の記名用サインペン(油性)
- ⑤12～15cm程度の定規
  - ・目盛り部分が透明で読みやすいものがよいです。
  - ※全ての学習用具に名前を付けるようお願いいたします。

## プラン②

### ノートづくり～考える力を育てるノート指導～



書くことによって自分の考えをはっきりさせたり、整理したりすることができます。また、書きながら考えが広がったり、深まったりすることもあります。「考える力」をより確かなものにするために書く活動はとても大切です。

各教科の学習では、ノートに自分の考えや友達の考え、学習して分かったことなどを書くようにしています。そうすることによってノートに学習したことが記録され、学習したことを積み重ねていくことができます。

## プラン③

### 「家庭学習のすすめ」

#### 1 家庭学習の5つの効果

家庭学習には、次のような5つの教育的効果が期待できます。



##### ① 習ったことを忘れない

学校で学習したことを家庭で復習することにより、習熟・定着を図ることができます。特に漢字や計算などは、学校だけの学習では忘れてしまうこともあります。学校で習ったことを、**家庭でも繰り返し取り組むことで、更に学習内容が定着します。**

##### ② 脳が発達する

読み、書き、計算などの反復練習を続けることにより脳が活性化されると言われています。また、**脳は筋肉と同じで、鍛えれば鍛えるほど発達する**とも言われています。小学生から脳を鍛える習慣を身に付けましょう。

##### ③ 学ぶ習慣と喜びが身に付く

毎日欠かさず家庭学習を続けることにより、**自ら進んで学ぶ習慣と学ぶ楽しさや喜びを身に付けることができます。毎日続けることにより、勉強することが面倒ではなく、楽しくなり、基本的な生活習慣の一つとなっていきます。**努力目標時間の短い低学年からコツコツと取組を続け、「学習すること」に慣れていくことが大切です。

##### ④ ICT 機器と上手に付き合える子になる

家庭学習最大の敵は動画視聴とゲームです。長時間スマホやゲームに浸っていると、学習したことが定着しづらくなるという恐ろしいデータがあります。

ICT 機器と上手に付き合う力を小学生のうちから身に付けていくことで、がまん強さ、根気、集中力を養うことができます。

**月に1回の「ノーメディアデー」には、家族全員で積極的に取り組みましょう。**

**西小の「ノーメディアデー」は毎月、第3月曜日です。ご家庭でトライしてみましよう！**

## ⑤ 家族のふれあいにより脳が活性化する

子どもが本を読んでいる時に傍で聞いてあげる、隣で一緒に読む、勉強が分からない時に教えたり調べたりしてあげるなど、家庭学習をしている子どもに親が関わることにより、家族のふれあいができます。低学年の子どもには親が本を読んであげたり、一緒に読書をしたりする（親子読書）のも大変よいことです。家族のふれあいの機会が増えることにより、子どもが心身ともに健康に育ち、最近注目されている「非認知能力」も高まると言われています。

近年の学習に関する研究によれば、**家族（親）が近くで自分の勉強をしているところを見てくれるだけで、自己肯定感が高まり、脳が活性化し、よく内容を理解できる**との報告があります。

## 2 保護者をお願いしたい5つのこと

子どものやる気を引き出すようなはたらきかけをお願いします。

### ① 家庭学習は、毎日こつこつと！

**褒める、認めることにより、子どものやる気スイッチを押すことができます。**「がんばっているね。」「続けられるなんてすごいなあ。」など、声かけをたくさんしてあげてください。その一言が子どものエネルギーになります。

### ② 家庭学習は、短時間で全集中！！

**短時間で集中して勉強することが長続きのこつです。**だらだら長くやっても、体も頭も疲れるだけです。例えば、1年生であれば、10分+10分など、時間を分けて行うこともおすすめです。

<時間の目安>	学年×10分+10分
---------	------------

### ③ 子どもが家庭学習をしている時は、テレビをOFF！

テレビや動画、音楽は消して学習しましょう。集中力を高めるためには、音のない環境がよいと言われています。

**静かな集中できる環境を家族みんなで作るようにしましょう。**



### ④ 子どものがんばりは認め、褒め、励ます！

親や教師が、子どものがんばりを認め、ほめたり励ましたりすることにより、自信が付き、進んで学習しようという意欲を高めることができます。

**ほめたり、認めたりする言葉は子どものエネルギーになります。**たくさんほめてあげましょう。

### ⑤ 生活のリズムを整える！

毎日決まった時間に家庭学習を行うためには、家庭での生活リズムを整えることが大切です。「生活リズムを整えることが学力向上につながる」ことは、学校便りや一週間チャレンジなどを通してお伝えしています。**「早寝、早起き、朝ご飯」が、生活リズムの大原則**です。学校や家庭で元気に過ごし、集中して学習に取り組むために、早く寝て、早く起き、朝ご飯をしっかり食べて登校しましょう。**就寝時間は、8～10時間とることが理想的です。**